

## いぶり基金特別枠 事業実施計画書

団体名 一般社団法人 いっぽん

申請事業名 マッサージを中心とした心身のケア活動

助成要望額 100 万円

### 事業背景

- ・胆振東部地震が発災して1年が経ちました。応急仮設住宅等には700名以上の方が住んでおり、今後の生活再建の見通しがつかず不安を抱えている人達が少なからずいます。また、被災による影響は応急仮設住宅等に住んでいる人達だけでなく、町内の多くの人たちにも及びます。仮設にいる方と同様に住宅への大きな被害、生活の糧となる生業への被害など、在宅で生活する方たちにも今後の生活への不安を抱えている方がいます。
- ・新たな生活に向かっていく人がいる一方で、今後の生活への見通しが立たない不安や焦燥感から心身の疲れ・ストレスが高まる人もおり、一人ひとりの個別状況に寄り添う取り組みが必要とされています。

### 事業目的

#### <本事業の目的>

- ・マッサージ等の活動に加え、談話スペースを設けてたり、食事を一緒に食べたりと交流の場を用意することで、被災者の心身のケアに繋がります。また、漠然とした不安等を吐露する場にもなっており、被災者の気持ちの整理にも寄与しています。
- ・外部の支援団体との連携も進んでおり、「被災者のために△△したい」団体の活動する機会にもなっています。

#### <本事業内容>

##### 1. マッサージ等を通じた活動

- ・発災直後から、安平町・厚真町・むかわ町の被災3町を中心に、慣れない地域での生活を余儀なくされている「みなし仮設住宅にお住まいの方」や一部損壊・半壊全壊判定を受けた「在宅避難者」や、発災当初から休みなく復旧・復興支援活動にご尽力されて来られた「支援者（役場及び社協職員）」へ、心身のストレス軽減を目的としたマッサージ&足湯ケアを提供。
- ・マッサージ以外にもお食事会や音楽会を企画し、住民さんが集い、心境を吐き出せる

場や心身がリラックス出来る場を提供する。

## 2. 心身のケア活動のコーディネート

- ・被災者の心身ケア活動に関心のある市民に対して活動する場所を提供する。
- ・そのために、当団体の活動報告を2回実施する。(時期：2019年12月、3月)
- ・「北海道足湯隊」や道外の整体プロ集団である「癒し隊」とも連携して活動しており、他団体や道内外の施術師のコーディネーター役も担っております。

<本事業の連携先>

- ①自治体 (安平町総務課・むかわ町健康福祉課)・・・活動場所の提供、住民への広報等
- ②社会福祉協議会 (安平町社会福祉協議会、厚真町社会福祉協議会)・・・住民への広報等
- ③他 NPO 等民間団体
  - (1) 北海道足湯隊・・・共同でケア活動を実施
  - (2) レスキューストックヤード・・・共同でケア活動を実施
  - (3) 癒し隊・・・マッサージボランティアの募集等
  - (4) 学生ボランティア団体 あるぼら・・・足湯ボランティアの募集等
- ④その他
  - (1) 安平町追分法養寺・・・会場提供、檀家への広報など。
  - (2) むかわ町穂別本念寺・・・会場提供、檀家への広報など
  - (3) むかわ町むかわ法城寺・・・会場提供、檀家への広報など
  - (4) 厚真町真正寺・・・会場提供、檀家への広報など。
  - (5) 植苗ファミリーセンター・・・会場提供、住民への広報など。

## 事業実施による成果(2~3年後までをイメージしてお書きください)

### 被災者の一人ひとりに寄り添うことで誰一人取り残さない

- ・被災による影響は一人ひとり違います。本事業では、一人ひとりの状況に寄り添うことで、「取り残された」と感じる被災者を減らしていきます。
- ・ハイリスク者への見守りや災害関連死の防止に繋がりたいと考えており、いずれは地域住民が集える場として、地元継承していきます。

### 心身のケア活動をする団体・個人のコーディネート役へ

- ・被災者のケア活動等をしたい人たちと被災者をつなげるコーディネート役へと当団体が成長します。胆振東部地震でのコーディネートだけでなく、道内外の他の被災地でも迅速に活動が出来るようになります。

・道内の各地区のケア活動団体と連携し、今後の然災害時に一致団結して一緒に活動できる仕組みを平時から構築していきます。

### **過疎地域での子供からお年寄りが集える場創りを担う**

・現在活動中の植苗地区では、地元の中学生在が、自主的に足湯ボランティアに参加し、地域のお年寄りに足湯を行う光景が生まれています。当団体のケア活動は、地元住民がボランティアに積極的に参加するきっかけの場となっており、自助・共助を高める良い機会となっています。災害時に限らず、植苗地区での活動実績をベースに、平時から「人と人のつながり」を持ち、顔の見える関係性を築く足掛かりとするため、足湯などのサロン活動の場を他地域にも広げていきます。

# 事業収支予算

## 事業実施初年度収入見込み

当助成金	1,000,000 円
自主財源	0 円
その他	498,000 円(寄付金)
合計	1,498,000 円

## 事業実施初年度支出見込み

支出項目	金額
車両交通費	312,000 円
車両レンタル代	96,000 円
消耗品雑材料	60,000 円
印刷費	30,000 円
日当 コーディネーター (24 回×15,000 円 /人)	360,000 円
日当 運営スタッフ (20 回×3 人×8,000 円 /人)	480,000 円
日当 マッサージボランティア (20 回×8 人×1,000 円)	160,000 円
合計	1,498,000 円

※足りなければ行を追加するか別紙収支予算書を添付してください。

2 年目以降の収支見通しについて分かっている範囲でご記載ください

2 年目も継続してケア活動を実施するために、1,498,000 円の事業費が必要と見込まれており、特別枠のうち 1,000,000 円を充当する予定。